市議会 9月定例会

市議会9月定例会は9月21日に招集され、27日までの7日間の会期で審議が行われました。

東部緑道は今年度で完了
すみれ保育園の用地を造成
―一般会計補正予算―

歳入歳出ともそれぞれ七千八十七万三千円を追加しました。予算総額は三十九億一千百八十八万九千円になりました。

歳入　市税を三千五百五十七万二千円追加しました。市民税および固定資産税の増収見込みによるものです。

地方交付税は、三百二十万円の追加です。

国庫支出金は、中央公民館建設費国庫補助金が増額交付されることになったことや、消防施設整備国庫補助金の追加など千九百九十一万三千円を追加しました。

市債は千二百万円を追加しました。財政対策債の追加などによるものです。

歳出　**議会費・総務費**

○　特別職職員の報酬給与改定に伴う議会費・総務費の追加は、四百四十六万四千円です。

○　旧火葬場建物解体撤去関係工事費として二百万円を計上しました。

○早通出張所の増築工事費の不足分と机、椅子などの備品費あわせて二百五十八万六千円の追加です。

民生費

○　児童福祉費で五百十一万八千円を追加しました。早通南保育園の屋外消火栓設置工事二百六十万円のほか、二葉保育園自動火災報知器の設置越岡保育園倉庫建築などです。

○　保育所建設費では、すみれ保育園改築用地理立および地盤調査の費用五百万円と三ツ森保育園下水側溝整備工事百七十二万円を計上しました。

衛生費

○　じんかい処理の豊栄郷清掃施設処理組合の負担金として五百八万一千円を追加しました。

農林水産業費

○　須戸地内農道舗装の負担金として三百二十五万円を計上しました。

土木費

○　道路新設改良に千四百二十八万五千円を追加しました。

○　早通南、早通北汚水処理場の汚泥汲取委託料として二百九十九万九千円を追加しました。また、早通北処理場に管理室を新設することにしました。

教育費

○　上土地亀小学校給食室建設工事費を三百万円追加しました。

○　葛塚中学校の木工用工作台などの備品購入に百二十八万八千円を計上しました。

○　公民館分館建設補助は百七十九万八千円で、灰塚、大月、長戸、新井郷などです。

○　交通安全対策としてガードロープ約百㍍の設置費百五十万円を追加しました。

○　都市計画関係では、街路事業に二百二十万円、早通南北の幹線下水路清掃委託に百八十七万六千円をそれぞれ追加しました。

○　昨年度から事業を進めている東部緑道の建設は、計画を一年短縮して今年度で事業を終えることにしました。延長約五百五十㍍、千百五万円の追加です。

消防費

○　平林、十二、山飯野の消火栓工事負担金として三百万円のほか嘉山消防器具置場工事費などです。

教育費

○　上土地亀小学校給食室建設工事費を三百万円追加しました。

○　葛塚中学校の木工用工作台などの備品購入に百二十八万八千円を計上しました。

○　公民館分館建設補助は百七十九万八千円で、灰塚、大月、長戸、新井郷などです。

意見書

国民健康保険制度の強化に関する意見書の提出を可決しました。

この宛先は内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣です。

市議・市特別職の報酬・給料を改定

市議および市三役の報酬、給料は、最近は毎年一月に改定してきましたが、五十年度末の改定は見合わせてきました。ことし五月に特別職報酬等審議会（小黒健次郎会長）にこの改定を諮問し、七月一日から実施するよう答申を得ましたが、経済状勢等を考慮して今回実施することにしたものです。改定の時期は市議会議員が七月一日から、市三役は十月一日からです。なおこのたびの改定は審議会の「五十二年度を見とおした額とすることが適当である」という答申に基づいて運用する方針です。（　）内は改正前の額です。

市長　四十万円（三十五万円）

助役　三十万円（二十六万円）

収入役　二十七万円（二十三万五千円）

教育長　二十六万五千円（二十二万八千円）

議長　十二万五千円（九万八千円）

副議長　九万五千円（八万一千円）

議員　八万五千円（七万三千円）

職員定数条例の改正

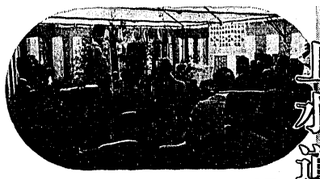
三ツ森保育園を新設することなどに伴って市職員の定数を二十三人増員することになりました。

教育委員長に

遠藤さん

任期満了に伴う教育委員の任命について、遠藤恭巳さん（長戸）、大野市平さん（長戸邑）の二人を再任することを市議会で同意しました。なお、再選後初の教育委員会は十月二日に開かれ、委員長に遠藤恭巳委員を、委員長職務代理に師橋守衛委員をそれぞれ選出しました。

上水道拡張事業着工
五千トンの能力アップで当面の水不足解消



上水道第五次拡張事業は、十月十日に起工しました。

ことしは冷夏だったとはいいながら、七月中には配水量が一万㎥をこえる日が二十日間以上もあり、七月三十日には一万三千百三十八㎥にも達しました。このままの状態では給水制限も必至とみられたため、市政だよりで節水を呼びかけるなどの対策を講じました。しかし、その後気温の低い日が続いて水使用量は安定し、八月中に計画量をこえた日は十三日間にとどまり、給水制限という最悪の事態はまぬかれることができました。

このような上水道のせっぱつまった状態を打開するための措置として、昭和五十六年に給水開始をめざす広域上水道事業の完成までの水不足対策として、このたびの拡張事業を進めることになったものです。

たびたびおしらせしているように、事業は二カ年継続で実施します。来年夏の給水ピーク時に間に合うように、給水施設の五千㎥能力アップを行います。九月二十四日には工事の入札を行い、それぞれ次のように契約を結んで事業を執行することになりました。

なお、来年度は、新潟市北部水道事業と共同で排水処理施設の築造整備を行う計画です。

○　配水池築造および附帯工事一億一千百万円、三井建設（株）東京土木支店新潟営業所（新潟市、代表住吉平一）

○　電気設備および附帯工事二千九百七十八万円、取・配十人で四・〇倍です。

水ポンプおよび附帯工事二千四百九十八万円、昱工業（株）（新潟市、代表中川浦一）

○　電気計装設備工事千六百五十万円、（資）吾妻計器（新潟市　代表関鉱二）

（写真は拡張事業の地鎮祭）

一般事務職は十九・四倍

来春採用予定の市職員を公募したところ、二十八人の定員に対して百六十四人の応募があり、十月七日市議会議場と消防署で採用試験が行われました。

職種別では、一般事務職員が五人の定員に対して九十七人の応募があり十九・四倍という狭き門です。保母は十八人に対して四十七人で二・六倍、調理手は五人に対して二十人で四・〇倍です。

災害見舞金 139万9千円 ありがとうございました

十月六日までに、七千五百三十六人の人たちから、百三十九万九千三百六十七円が寄せられました。県共同募金会を通じて災地へ届けるため石井市長が七日にこのお金を持って納めてきました。

なかには、「テレビで台風被害を受けられた人たちのことを見て、気の毒で涙があふれてしかたがありませんでした」という手紙を添えて、浦ノ入の渡辺サトミさん（六十八歳）は何年もかかってこつこつと自分で働いて貯めたお金十万円を被災者のためにと寄せられました。また、七・一七水害のときの恩がえしの一部として、百三十九万九千円を募金された方など、たくさんの善意が寄せられました。

ちが経験した水害と、同じ苦しみを味わっている被災地のみなさんに暖かい手を―

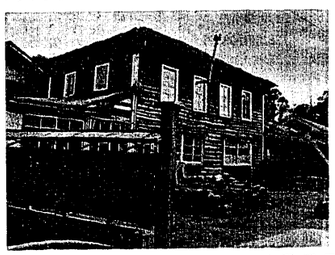
と、〝豊栄市市外の災害に対する見舞金募集要領〟に基づいて九月二十日から台風十七号被災者の救援募金を行いました。

十一年前にわたくしたち

『越岡村役場』
明治二十六年に建築か

このほど取りこわされた旧岡方出張所、つまり旧岡方村役場庁舎は、いつ建築されたのか記録が見当らずじまいになるのではと、この建物にかかわり合いのあった人たちから名残りおしまれていましたが、このほど、建築年月を記したと見られる古文書が見つかり話題となりました。

これは、解体処分するための整理のさいに焼却処分するごみの中から偶然発見されたもので、「明治三十二年調、北浦原郡越岡村役場、基本財産原簿」に「越岡村大字長戸呂、三十九坪八合八勺、所有権の開始明治二十六年十月三十日」と記されていました。また、大正のころ作成されたと見られる「岡方村基本財産原簿」には「岡方村役場、長戸呂七七四番地、四十坪六合三勺、所有権の開始明治三十四年十一月十五日」とありました。明治三十四年十一月は越岡村、大久保村、三森村が合併して岡方村が発足した月に当り、この記録の日を財産引継ぎの日とみることができるようです。



（写真は解体中の旧庁舎）